



映画『ここに泉あり』（1955）の時代

（「映像作品と地域活性化」を考える）



講 座 概 要

情報メディアとまちづくりはかつてないほど近接するようになった。こうした動向を探っていく調査・研究は社会情報学でも進められている。「映像作品と地域活性化」をテーマにした公開講義シリーズ（2019年度）では、群馬交響楽団創設の苦闘を題材にした映画『ここに泉あり』（1955年）をふりかえり、地域文化興隆の様相を「映像作品と地方政治の交錯史」という視座から考察したい。

実施責任者：社会情報学部准教授 北村 純

□講義日程

日 程			講 義 内 容	講 師
第 1 日	11 月 23 日 (土)	13:00 ~ 14:30	【映画『ここに泉あり』（1955）の時代 （「映像作品と地域活性化」を考える）】 講義では1955年公開の映画『ここに泉あり』を題材にして、映像作品と地方政治がどのように交差しつつ地域文化の興隆に係わってきたかについて振り返り、その現代的意義について考察する。（※今回の講座は単発の講義となり、日程は群馬大学・荒牧祭の開催中となる予定です。）	社会情報学部 准教授 北村 純